

**事業所名** グループホームひまわり  
(クリックすると事業者の情報にリンクします)

日付 平成18年10月31日

**評価機関名** ㈲東京リーガルマインド  
(クリックすると評価機関の情報にリンクします)

**評価調査員**  
A:現職 生活指導員  
資格・経験 身体障害者職業生活指導員、社会福祉主事、NLP2級、介護支援専門員  
B:現職 理学療法士  
資格・経験 理学療法士、介護支援専門員、ガイドヘルパー講師(3年)

**自主評価結果を見る** (事業者の自主評価結果にリンクします)

**評価項目の内容を見る** (評価項目にリンクします)

**事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)**  
(事業者情報のうち評価結果に対する事業者コメントにリンクします)

I 運営理念

| 番号   | 項目   | できている | 要改善 |
|------|--|-------|-----|
| 1    | 理念の具体化、実現及び共有  |       |     |
| 記述項目 | グループホームとしてめざしているものは何か(記述)  |       |     |
|      | <p>入居者の毎日の幸せを目指して、ホーム名を「ひまわり」と名づけたように、「いつもここにこ明るい笑顔」をモットーに、その人らしく過ごせるように努力している。</p> <p>パンフレットにあるように、「入所して良かった、住んで良かった」と思ってもらえるグループホームになって行くように、日々スタッフは努力を積み重ねている。</p> <p>入居者の現有能力を活かした心身の機能回復を目指し、農作業・調理・自分での洗濯機の使用・趣味活動等、見守りのうちに自立に導くケアの実施を進めている。</p> <p>芝生・畑など、自然に囲まれた広い敷地の中で散策や園芸など健康的なケアを目標とし、また、地域の高齢者を雇用して共に農作業を楽しむ事も目指している。</p> |       |     |

II 生活空間づくり

| 番号   | 項目   | できている | 要改善 |
|------|--|-------|-----|
| 2    | 家庭的な共用空間作り   |       |     |
| 3    | 入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり  |       |     |
| 4    | 建物の外回りや空間の活用   |       |     |
| 5    | 場所間違い等の防止策   |       |     |
| 記述項目 | 入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か(記述)   |       |     |
|      | <p>畑仕事・散歩・調理の手伝い、趣味活動として焼き物・紙細工等を入居者は自由に行い、以前の生活経験を活かして暮らせるように支援している。</p> <p>カラオケや折り紙等、趣味活動を楽しみながら自由にスケジュールの無い生活をしてもらい、家庭の営みに似た雰囲気の中で、笑顔で明るく毎日が送れることを母体企業の方針として徹底し、職員全体が努力している。</p> <p>木材を中心とした建物全体が柔らかさを醸し出し、バリアフリーと居心地の良さにより、入居者の落ち着いた生活を追及している。</p> <p>広い庭園を前に玄関の椅子でくつろぐ光景や、芝生の中の車椅子でも動ける遊歩道は、入居者の自由闊達な精神状態を呼び覚まし、また、認知症緩和の一助となり、落ち着いたホーム生活に繋がっている。</p> |       |     |

III ケアサービス

| 番号 | 項目                        | できている | 要改善 |
|----|---------------------------|-------|-----|
| 6  | 介護計画への入居者・家族の意見の反映        |       |     |
| 7  | 個別の記録                     |       |     |
| 8  | 確実な申し送り・情報伝達              |       |     |
| 9  | チームケアのための会議               |       |     |
| 10 | 入居者一人ひとりの尊重               |       |     |
| 11 | 職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ |       |     |
| 12 | 入居者のペースの尊重                |       |     |
| 13 | 入居者の自己決定や希望の表出への支援        |       |     |
| 14 | 一人で行えることへの配慮              |       |     |
| 15 | 入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫 |       |     |
| 16 | 食事を楽しむことのできる支援            |       |     |

外部評価の結果

**調評**

全体を通して特に良いと思われる点など(記述)

吉備路に繋がる国道が側を走り、駅・バス停も近い倉敷郊外真備町の中心部の田園地帯にある。近隣にはスーパーや商店もあり、都会生活も田園生活も楽しめる便利なロケーションである。

グループホームの敷地には芝生の前庭と広い菜園があり、見通しも良い胸高の白線のフェンスは安全で閉鎖感が無い。入居者は敷地内で自由に散策・菜園活動が出来る。恵まれた環境の中に2ユニットのグループホームがある。

医療支援体制は地域内の総合病院と提携しており、近くの医院には平素の往受診・健康相談はもとより、緊急時には直ちに対応してもらえ、入居者は安心してホーム生活を送ることが出来る。

福祉に造詣の深い運営母体の代表者のコンセプトとして、ホームは自然素材である木材をふんだんに取り入れ、明るく柔らかい感じを醸し出し、玄関も緩やかなスロープで全館バリアフリーになっている。庭には車椅子ロードを設け、入居者の移動と安全に配慮してある。

左右対称で平屋の2ユニットは、共用空間では入居者はお隣さんとして自由に交流し、共通の玄関前の広い庭には芝生が植えられ、外でも一緒に活動が出来る敷地設計となっており、そのことは入居者の明るい朗らかな表情となって表れている。

職員は目標として、いつもニコニコと笑顔で優しく、丁寧な言葉使いで真心を持って入居者・家族に対応できるよう心掛けており、心地よいケアサービスがなされている。

**特に改善の余地があると思われる点(記述)**

開設1年目において、職員の向上意欲と日々の努力がうかがえる。

記録類については、具体性と誰でもがたちどころに分かる普遍性が求められる。職員会議等チームケアの会議については、定期的に内容を定めて開催し、会議記録も確認できるように改善されている。記録作成は、その目的に即して簡潔なマニュアルを整備されると、更に充実したケアに繋がると思われる。

地元町内会に入会するなどして、地元の一員として積極的に地域に溶け込み活動するならば、地域保健福祉の拠点となって貢献し、更なる福祉グループとして発展の可能性が期待できる。

III ケアサービス(つづき)

| 番号   | 項目   | できている | 要改善 |
|------|--|-------|-----|
| 17   | 排泄パターンに応じた個別の排泄支援  |       |     |
| 18   | 排泄時の不安や羞恥心等への配慮  |       |     |
| 19   | 入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援  |       |     |
| 20   | プライドを大切にした整容の支援  |       |     |
| 21   | 安眠の支援  |       |     |
| 22   | 金銭管理と買い物物の支援   |       |     |
| 23   | 認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保  |       |     |
| 24   | 身体機能の維持  |       |     |
| 25   | トラブルへの対応   |       |     |
| 26   | 口腔内の清潔保持   |       |     |
| 27   | 身体状態の変化や異常の早期発見・対応   |       |     |
| 28   | 服薬の支援  |       |     |
| 29   | ホームに閉じこもらない生活の支援   |       |     |
| 30   | 家族の訪問支援  |       |     |
| 記述項目 | 一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か(記述)  |       |     |
|      | <p>入居者の職歴・経験能力をしっかりとアセスメントし、管理者・スタッフ丸となって、その能力と本人の意思が生かされるように支援している。内職していた人には割り箸の袋づくり等、入居者の生きがいとなるように取り組んでいる。また、作業等が持続できるように支援し、本人のプライドが保てるように配慮している。</p> <p>入居者の個人ファイルの表には名前は記さず、番号のみ表記して個人のプライバシーを保護するようにしており、それら個人記録は事務室の中に安全に保管されている。不要の個人情報は一括して処分している。</p> <p>入居者・家族の相談は人前では聞かないように心掛け、話の内容によってはプライバシーを守る場所に移動するように管理者・職員は取り組んでいる。</p> |       |     |

IV 運営体制

| 番号   | 項目   | できている | 要改善 |
|------|--|-------|-----|
| 31   | 責任者の協働と職員の意見の反映  |       |     |
| 32   | 家族の意見や要望を引き出す働きかけ  |       |     |
| 33   | 家族への日常の様子に関する情報提供  |       |     |
| 34   | 地域との連携と交流促進  |       |     |
| 35   | ホーム機能の地域への還元   |       |     |
| 記述項目 | サービスの質の向上に向け日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か(記述)   |       |     |
|      | <p>朝礼・申し送りとその日に起こったことの情報共有を徹底し、現場での積み重ねにより、サービスのレベルアップに向けて日々努力している。</p> <p>些細な事故・トラブルを漏らさず事故報告書に記載し、管理者・職員でその原因を分析して対応策を検討し、再発防止に努めている。</p> <p>職員・入居者一緒に、毎月のように防災訓練・避難訓練を実施しており、不慮の事故発生に備え十全の体制を敷き、入居者の安全第一の配慮を徹底している。</p> |       |     |